

## 令和2年度 堺区自立支援協議会活動報告

### 1. 主な取組内容・事例検討内容等

堺区では、今年度「緊急時（コロナ禍）でも協議会の開催を継続して、堺区の支援のネットワークの維持を目指す。」を重点的に取り組んできた。

#### ○会議の形の模索

感染防止対策だけでなく、災害等の緊急事態にも対応できる協議会開催の形態を模索し、ビデオ会議ツール「zoom」を利用しながら維持できる開催の形を今年は検証してきた。参集型の会議形態も残しながら、リモートとの併用した会議のひな型は出来つつあり、リモート会議を中心とした協議会へ移行を果たしている。協議会以外で、各所でのリモートを使った実例を共有。

#### ○緊急事態（コロナ禍・災害時など）への取り組み

堺区の実態・実情・情報が速やかに協議会に集まる仕組みを構築できるよう、今年度は「コロナ禍」をテーマに実情把握→課題整理→区で取り組める事、市へ報告する事と整理しながら取り組んだ。

・実情把握では、「コロナ時、各事業所の対応・取り組みの共有」と題し①困ったこと②今していること・できること③提案・希望・要望を、自由記述でアンケート調査を実施。

・課題整理については、全体のアンケートの文言を切り分け、カテゴリー分けを行った。（下記の表参照）  
《困りごとについて》 内容は一部抜粋

誰が？	主な内容のまとめ
利用者	生活リズムへの影響、関係性への影響の課題（家族・友人関係）、理解の難しさ
利用者家族	関係性への影響の課題（介護者の精神的負担）
支援者個人	心理的負担への課題（計画相談に全てのコーディネートを委ねられる負担、判断の難しさ）
関係機関	サービス利用制限の課題、業務への弊害、連携の難しさ、方針・指針への課題
所属機関	業務への弊害（通常の支援のできない状況）環境調整の難しさ（直接サービスを実施する上で感染防止対策の限界など）支援機能の低下による課題（ソーシャルディスタンス等が向かない事業）物品の調達に対する課題、方針・指針への課題、経済的な課題など。

《今していること・できることについて》（各関係機関）

感染予防対策の実施・整備、指針の整備（マニュアルづくり）、支援・対応（個別対応など）リモート体制の整備、情報発信・共有、利用調整、心理的配慮の実施など。

・これまでの経過から、堺区協議会としてコロナ禍に限らず、災害時に向け、何が出来るのか、取り組むのかを意見交換した。情報が錯綜し混乱した事から、情報関連についての意見が多く、「情報」に焦点を置き、何を扱うのか、さらに確認し整備を進めていく予定。

### 2. 堺区が課題と捉えていること

#### ○情報の発信と共有について

災害時を想定した時に、区域だけのネットワークだけでなく、市域の情報の共有、課題集約などの構造が明確になれば、全区の様子を把握しやすい。災害時（緊急時）の個人情報の共通理解。

#### ○セルフプランの人の相談支援体制

計画相談のついていない方に対し、各所（地域と支援者）の相互理解が進めばネットワークの中で補い合える土壌づくり。セルフプランに限らず、潜在的に支援を必要としている方の相談支援体制づくり。